

現代に蘇る江戸情緒豊かな風景

第18回出雲街道津山城東むかし町
11月4日 城東町並保存地区

旧出雲街道沿いの城東町並保存地区で往時のにぎわいを再現するイベントが今年も開催されました。

快晴に恵まれ、約3万5千人の市民や観光客が、時代行列や消防音楽隊などによる大行進や城東太鼓、射的大会、富くじなどのイベントを楽しみました。

また、今年には「寺'ive at 浄園寺」と題し、浄園寺境内で美作大学軽音楽部などによる演奏が行われるなど、新しいイベントが加わりました。



今月のフラッシュ+



大規模地震に備えて

総合防災訓練
10月28日 吉井川南岸河川敷

大規模地震を想定した防災訓練が自主防災組織などの参加により実施されました。

倒壊家屋からの負傷者救出や、避難所でのプライバシー保護を目的とする段ボールブースの組み立て、医師会・災害拠点病院救護班による応急手当など、本番さながらの訓練が行われました。婦人防火クラブ会長として参加した佐山笑子さん（坪井上）は「身近な人を救助する蘇生法などのプログラムもあれば、より充実した訓練になりますね」と感想を話してくれました。



ロボサッカーで熱戦!

つやまロボットコンテスト
11月4日 津山工業高等専門学校



今年につやまロボットコンテストは「ロボサッカー」。小学生から社会人まで市内外から47チームが出場し、サッカーボールに見立てた小さなボールを追い掛けました。優勝は、高校一般の部が津山高専Nothingチーム、小中学生の部は北陵中学校ロボット部5班チームでした。

津山洋学の新たな側面に興味津々

津山洋学資料館文化講演会
11月4日 津山国際ホテル

57回目の今回は、電気通信大学准教授の佐藤賢一さんを迎えました。「江戸時代の科学史研究者にとって、洋学の大家を輩出した津山は憧れの地」と冒頭に語り、江戸時代前半の測量術に関する講演を行いました。また、講演会終了後には、コーヒーと作州特産の黒豆をブレンドした「黒豆榕菴珈琲」を飲みながら、参加者たちは津山洋学の話題に花を咲かせていました。



秋の里山で感じる中世のロマン

第10回さら山時代祭
11月11日 皿から種までの旧出雲街道沿い

御駐れん場、洗顔清水など後醍醐天皇にゆかりのあるこの街道で今年も開催されました。

佐良山小学校3年生による「よさこいソーラン」踊りなどで始まり、恒例の時代行列が街道沿いを練り歩きました。

また、昔の情報伝達方法を再現した大声大会や弓矢遊び・しゃぼん玉体験など、さまざまなイベントが開催され、多くの参加者は歴史ある佐良山の豊かな自然をのんびり歩きながら体験し、色々な屋台の味も楽しみました。

